

味の素株式会社が「LINKFUN」を活用し、 LINE ミニアプリとレシートによるmastバイキャンペーンを実施

先着 10 万名にもれなく LINE Pay 残高プレゼントなど、
購入数に応じて変わる魅力的なプレゼントで販促・CRM を実現

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）とアイリッジの連結子会社でマーケティングに関するコミュニケーションデザイン事業を展開する株式会社 Qoil（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：小田 健太郎、以下「Qoil」）は、両社が提供する LINE ミニアプリを活用した販促・顧客育成ツール「LINKFUN」が、味の素社が運営する「LINE AJINOMOTO 公式アカウント」に採用され、2023年9月27日より「クノール® マイレージキャンペーン」が実施されることを発表します。

クノール® マイレージキャンペーンについて

「クノール® マイレージキャンペーン」は、専用 LINE ミニアプリから味の素社が提供するクノール®全商品の商品バーコードと購入レシートを読み取ることで LINE Pay 残高がもらえるキャンペーンです。

応募者は、応募期間中に対象商品を購入したレシートを撮影して応募すると、LINE 上にスタンプがもらえます。スタンプを1つ貯めた時と3つ貯めた時に先着で LINE Pay 残高がもらえます。そして、スタンプを2つ貯めた時と、4つ貯めた時、5つ貯めた時には、その場で当たりが分かる抽選ゲームに当選することで LINE Pay 残高がもらえます。

「LINKFUN」は前身である「購入スタンプミニアプリ for メーカー」時代よりさまざまなキャンペーンの DX を支援し、導入前のアナログキャンペーンと比較して5倍以上の応募を集めたキャンペーンもあるなど、販促・CRM（顧客との関係づくり）における効果を出しています。本キャンペーンにおいても、クノール®の売上アップおよびファンの活性化やファン化の促進に貢献することを目指します。

・キャンペーンサイト URL : <https://ajinomoto-lp.stamp.iridgeapp.com/>



LINKFUN について (<https://www.qoil.co.jp/linkfun/>)

「LINKFUN」とは、企業とユーザーが LINE ミニアプリ上で繋がり、オンライン・オフライン問わずキャンペーンや継続的なロイヤルティプログラムをカンタンに行え、ユーザー分析も出来る販促・顧客育成ツールです。販促視点ではmastバイ型キャンペーンによる売上アップやデータによる効果測定・流通商談機会創出、LINE ミニアプリによるキャンペーン DX 等を、CRM 視点ではファン化の促進や行動データの収集・分析による顧客の見える化および顧客体験の向上などを実現します。

- ・主な機能：mastバイキャンペーン、スタンプカードキャンペーン、インスタントウィン、QR コード読取りでポイント付与、コンテンツクリックでポイント付与、LINE メッセージのセグメント配信
- ・オプション機能：アンケートやクイズに答えてポイント付与、クチコミ投稿でポイント付与、ポイント管理機能

LINEで始めるファン作り！販促と顧客育成を手軽に実現



販促担当者様



LINEを活用し、オンライン・オフラインを
問わないマストバイキャンペーンが
手軽に実施出来る！

商品売上をあげたい！

01
マストバイ型レシートキャンペーンで
売上アップにつながる！

キャンペーンが成果に繋がっているのか分からない

03
得られたデータを元に
効果測定ができる！

店頭配荷を増やしたい！

02
レシート分析レポートで
流通商談できる！

キャンペーン業務を効率化したい！

04
LINEミニアプリで
キャンペーンDXを実現！

CRM担当者様



LINE上でロイヤルティプログラムを
始めることが出来、
長期的なファン育成を実現！

顧客の離反を防ぎたい。リピーター化したい。

05
ロイヤルティ「ストック」プログラムで
ファン化を促進！

データ不足でデータの活用が出来ていない

07
レシートデータや顧客の行動データを
蓄積・分析できる！

顧客理解を深めたい。顧客像を明確化したい。

06
レシート分析レポートで
流通商談できる！

人材/スキル不足でデータの活用が出来ていない

08
Qoilがデータの収集・分析から
伴走支援します！

味の素株式会社について (<https://www.ajinomoto.co.jp/>)

本社所在地：〒104-8315 東京都中央区京橋一丁目 15 番 1 号

創業年月日：1909 年 5 月 20 日

代表者：取締役 代表執行役社長 最高経営責任者 藤江 太郎

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow：テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO（Online Merges with Offline：オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動）支援を行っています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけた OMO アプリの MAU（月間アクティブユーザー）は 8,000 万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。

今年 4 月からは急激な時代の変化に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。「APPBOX」ではスクラッチ開発（ゼロからの開発）、他社開発アプリへの機能追加、パッケージアプリ提供が可能で、パッケージアプリでは従来のアプリを捨てることなく、スクラッチ開発に移行しての機能刷新も可能です。

株式会社 Qoil (<https://www.qoil.co.jp/>)

The Switch Design Company ～コミュニケーションのスイッチをデザインして人を動かす会社です～

わたしたち Qoil は、「愛とユーモアと。」を合言葉に、ロジックとアイデア、そしてクリエイティブを化学反応させることで、ヒトやモノ、サービスなどが狙い通りに“動く”スイッチをデザインし、社会や企業のボトルネックを紐解き、戦略策定から企画立案・実行・改善まで並走し、ビジネスゴールへと導きます。オフラインからオンラインまで、双方の利点を活かし融合させた最適なコミュニケーションを強みとしています。

※株式会社デジタルガレージ マーケティングテクノロジーセグメント ビジネスデザインカンパニーを前身とし、会社分割により 2018 年 6 月に株式会社 DG マーケティングデザインとして新設、2021 年 4 月、株式会社 Qoil へ社名変更。2023 年 3 月、アイリッジ 100%子会社化。

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。